



「子供たち一人ひとりが輝くように」

校長 小寺 恵理子

プール脇のあんずの木に、小さい実がなり始めました。一昨年度大豊作だったキウイフルーツは、去年はほとんど実りませんでしたが、今年はどうでしょうか。花壇の花々で四季を感じている子どもも多く、登校時に花が咲いたことを嬉しそうに教えてくれることも多いです。また、「春さがし」の学習で、子供たちは本町小学校の「春」をたくさん見つけていました。心豊かな子供たちでとても嬉しく思います。



#### 【1年生を迎える会】

新学期が始まり、約1か月たちました。始業式、通学班会議、1年生を迎える会、離任式、なかよし班会議と、子供たちは新しい環境の中でさまざまな行事を通して経験を広げています。1年生もすっかり学校に慣れ、休み時間は先生と一緒に楽しく中庭で遊んでいる様子が大変微笑ましいです。6年生も1年生を気遣い、よく声をかけているようです。昨年から6年生教室を1、2年生の教室の隣に配置しましたが、上級生として優しく接し、手本となろうと頑張っている6年生の姿は素敵だなと思います。本町小学校が大切にしている教育活動の中に、縦割りグループによる活動があります。これは、6年生がリーダーとなり、1年生から6年生までの10名ぐらいで1つのグループ「なかよし班」をつくり、年間を通して活動するものです。異年齢の児童の交流を深めることにより、自分が集団の一員として、役割を果たしていることを自覚し共に活動をする中で、お互いを認め合い、励まし合ってより良い学校生活をしようとする態度を育てることを目標としています。4月25日(木)には、なかよし班開き集会が行われました。なかよし班ごとに分かれて6年生のリーダーを中心に自己紹介をし、顔合わせをしました。6年生がやさしく声かけをし、話し合いを進める様子が微笑ましかったです。これから上級生を中心になかよし班活動を進めて行く予定です。今年度も、この活動を大切にしていきます。学習や運動だけでなく、学校行事や特別活動等を通して子供たちが活動する場面を多く設定し、一人ひとりの輝く場面が増えるようにしていきたいと思います。ホームページでもできる限り輝く子供たちの様子を紹介していきますので、ご覧いただければ嬉しいです。

ゴールデンウィークは、新学期の緊張が解けて子供たちが少しほっとする時期でもあります。この時期に心と身体を休めて、ゴールデンウィーク明けも元気よく学校生活を送ってほしいと思います。担任を中心に専科教員や養護教諭、発達支援相談員、月に1回一日配置となったスクールカウンセラーとも情報共有を図りながら、子供たちの様子に気を配り、少しでも子供たちが楽しい学校生活を送れるよう努めてまいります。何かご心配なことがありましたら、いつでも学校までご相談ください。